

第 8 回「地域プランナー・コーディネータ」認定試験

日時: 2015 年 2 月 21 日(土)11:00~15:30

会場: IBC フォーラム(奈良)

◆あなたは、次のどの認定を希望しますか？

1. 地域プランナー (→問 1・2・3・4・5(1)・6 に回答ください)
2. 地域コーディネータ (→問 1・2・3・4・5(2)・6 に回答ください)
3. 地域プランナー&コーディネータ (→全問に回答ください)

問 1. 地域づくりの定義を示し、その具体的イメージがわかるように、事例でもって、活動内容と成果を述べなさい(400~600 字)。なお、事例は、あなたが知っている地域づくり事例、あなたが関わった地域づくりのどちらでもかまいません。

問 2. あなたは、「地域の発展」とは、どのような状況が生じていることだと考えますか。その状況を 3 点示すとともに、その内容を述べなさい(400~600 字)。

問 3. 地域プランナー&コーディネータが地域づくり支援活動を行うにあたって、必要な視点と心得について述べなさい(400~600 字)。

問 4. 地域プランナー&コーディネータは、地域の人々とともに将来像をイメージしつつ、地域に対して「構想・計画」を提案し、その実現に注力していく必要があります。その時に留意すべきことを述べなさい(400~600 字)。

問 5(1)あなたが知っている地域づくり事例やあなたが関わった地域づくりについて、地域資源を示した後、貴方なら、その資源をどう活用するのか、「地域プランナーの立場から」、400~600 字で述べなさい(単独の事例についてでも、複数の事例についてでも可)。

問 5(2)あなたが知っている地域づくり事例やあなたが関わった地域づくりについて、地域資源を示した後、貴方なら、その資源をどう活用するのか、「地域コーディネータの立場から」、400~600 字で述べなさい(単独の事例についてでも、複数の事例についてでも可)。

問 6. 次のような状況に対し、あなたは、どのような地域発展(活性化)策を提示し、どのような活動を行いますか、ひとつを選び 400~600 字で述べなさい。

- ①少子高齢化が進行したニュータウンで、地域外からの来訪者がいない。
- ②特定の資源にのみ頼った観光地で、観光入込客数が減少している。
- ③優れた農産品をもつ地域であるが、付加価値を得る仕組みができていない。
- ④過疎地域で、木造校舎が廃校となってしまった。
- ⑤里山が放置されたままで、地域の人々は、価値がない雑木林としか見ていない。

※1:各問とも 20 点満点です。各問につき 10 点以上、合計 80 点以上を合格とします。

なお、問 5(1)(2)の両者に回答した場合は、問 5 の得点は(1)(2)の平均点とします。

※2: パソコンを使用し、各頁とも受験者氏名を記入ください。

※3: 回答は、電子データで提出ください。